

やる気と感動

学校だより15号

平成29年

9月9日(土)

= 第7回 輝城祭 開祭 テーマ『探究』 =

本日は、第7回輝城祭開催にあたり、渡辺教育長様、教育委員の皆様、望月副議長様をはじめとする、町議会議員の皆様、ご来賓の皆様、保護者、地域の大勢の皆様にご来校いただき、誠にありがとうございます。

本校では『地域とともにある学校づくり』をめざし、学校運営協議会を設置して2年目になります。毎回2時間を越える熱心な協議を行い、学校経営方針の承認から、学校関係者評価まで、学校運営に関わる様々なご意見を頂き、学校経営全般に大きな力添えをいただいています。

また一昨年より、内船歌舞伎保存会の皆様のご指導により、内船歌舞伎を学園祭に取り入れました。地域とともに伝統文化の伝承活動を行っていることが評価され、昨年『おもてなし山梨』の知事表彰を頂きました。この他にも大勢の皆様に見守られ支えられ南部中学校の教育を推進できますことを、この場をお借りして感謝申し上げます。

ご来賓の皆様、保護者・地域の皆様には、これからも南部中の教育活動のお力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。



さて、本年度の輝城祭は、『探究』をテーマに掲げ、6月より活動を開始してまいりました。全校生徒職員が一丸となり、輝城祭成功と一人ひとりの成長、南部中学校の集団としての高まりをめざし、励まし合い、支え合いながら、朝から放課後遅くまで取り組んできました。

学園祭には、一人ではできないこと、一人では学べないことがたくさんあります。大勢の人との協力や関わりの中で、一つの目標を成し遂げていく喜びや、感動がたくさんあります。

みんなで頑張ろう、良いものを創ろうとする中で、考えや意見の違いでぶつかり合ったり、取り組みの本気度に不満を持ってぶつかり合ったり、本音で語り合う姿が今年も見られました。それを乗り越えて輝城祭成功をめざしていくことで、強い団結力と大きな感動が得られます。この経験がとても大事なのです。これこそ学園祭（輝城祭）で学んでほしいものであり、身につけてほしい力です、

南部中はまだ6年間の伝統ですが、輝城祭は県内でもトップレベルの学園祭だと確信しています。一人ひとりを輝かせる学園祭だと思っています。

この二日間、熱い心を持ち、力の全てを出し切って、『感動の本質』を『探究』していきましょう。そして、新たな伝統を築きましょう。

輝城祭開催にあたりまして、来賓の皆様、内船歌舞伎保存会の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、ご家族の皆様方に多大なるご指導、ご支援を頂きましたことに、深く感謝申し上げますとともに、この二日間生徒たちへの暖かな励ましと、ご支援をお願い申し上げます。

これからまさに『やる気と感動』の二日間が始まります。ほとばしる南部中生徒の青春のエネルギーを感じていただければ幸いです。

本日はありがとうございます。明日の二日目もぜひお越しください。